

① 研究課題名：

レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査

J-ASPECT study (Nationwide survey of Acute Stroke care capacity for Proper designation of Comprehensive stroke Center in Japan)

② 研究の目的：

日本では、脳卒中急性期医療の質が、その後の脳卒中の予後および循環器病の長期予後（脳卒中の再発、循環器病の発症、これらによる再入院と中長期的な QOL）に与える影響は明らかになっていません。これまで、長期的な脳卒中の再発、循環器病の発症までを追跡、登録する取り組みが存在しないことが原因です。

本研究は、既存の J-ASPECT データを柱として、さらに全国救急搬送データや患者の長期予後のデータを収集し、脳卒中および脳神経外科治療の臨床研究に使用可能な統合データベースシステムを構築することで、今後様々な検証に役立てることを目的としています。

③ 研究期間：西暦 2018年 2月 ～ 2026年 3月 31日まで

④ 研究実施施設一覧

研究代表者：国立循環器病研究センター 飯原弘二

参加施設：J-ASPECT ホームページ <https://j-aspect.jp/> 参照

⑤ 研究の対象：

2017年12月から2025年3月31日までに東部医療センターに脳卒中で入院された方のDPC情報及びレセプト電子情報（データは年度毎に1年区切りで収集される）

⑥ 研究の方法：

下記⑦の調査項目について電子カルテ等から収集し、DPC 情報及びレセプト電子情報は個人を特定できないように匿名化处理ソフトウェアを用いて暗号化し、電子媒体にて J-ASPECT 研究事務局へ提供します。

⑦ 調査項目：

- ・ 基本情報：生年月、性別、自宅郵便番号、病名、併存症
- ・ 入院情報：発症年月日、入院年月日、入院経路
- ・ 退院情報：退院年月日、退院先、退院先
- ・ 治療内容：薬物治療、手術
- ・ 画像診断、検査の有無
- ・ リハビリテーションの有無 など

⑧ 研究成果の公開

この研究のデータ解析結果は、論文等で公開される予定です。

⑨ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	各科の主な担当医師
名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	<u>脳神経内科</u>	<u>山田 健太郎</u> TEL : 052-721-7171 (代表)